

消費者と提携し地域農業を守る

# 下郷農協



2017

5 No. 669

May



「食・農」への関心、次世代へ  
産地を訪れ消費者と生産者が交流

(野菜生産者から説明を聞く生協の組合員さん)

# 熊本・大分地震から一年

## 暴走ではなく国民に寄り添う政治を

代表理事組合長 矢崎和廣



### 復興大臣の暴言が

#### 物語る安倍内閣

東京電力福島第一原発事故で自主避難を余儀なくされた被害者に対して今村雅弘復興大臣が「本人の責任だ」「裁判でもなんでもやればいい」などと国の責任を放棄する暴言を述べました。

これが今の安倍内閣の全てだと感じますし、だからこそ安倍首相も大臣を更迭しません。

被災された方、自主避難された方々がどんな気持ちでいるのか、どんなに苦勞しているのか、どんなに怒りを覚えているのか、あらためて国民目線ではない政治の本質をみた感じがします。一年前の四月に発生した熊

本・大分地震は、小さな余震も含めて一年間に十三万回も地震が発生したと報告されています。現在も災害の恐怖を感じている方々に真に寄り添う政治を進めてほしいものです。

### あらゆる農業分野で暴走

トランプ米国大統領誕生でTPPが破綻したにもかかわらず、安倍内閣は引き続き米国の抜きのTPPを加盟予定国と進めようとしています。

それだけに止まらず、農協改革、農業委員会改革、農地制度、価格補償制度、さらに種子法の廃止と立て続けに農業潰し、大規模農業・企業参入農業を推し進めています。

これまで農地を守り、農家を守るために農業者の選挙で選ばれていた農業委員は、担い手への農地利用の集積化・集約化、法人化の推進などを目的に市町村長の任命となった上に、委員の数は大幅に削減され、代わっ

て農地利用最適化推進委員なる役を新たに設けました。

二〇一八年度には、十アール当たり一五、〇〇〇円あった戸別所得補償制度は完全に廃止され、生産目標数量の配分もやめようとしています。

主要農産物種子法（種子法）廃止法案や農業競争力強化支援法案も改悪が進められています。種子法は米・麦・大豆の生産や普及を都道府県に義務付けるもので、廃止することによって価格高騰の危険や多国籍種子企業が種子を支配し、遺伝子組み換えなど日本の食料主権が危ぶまれる大きな問題なのです。

### 政府主導の農協改革、

#### 新たな方向へ

四月三日、新聞の見出しに目を疑いました。「福岡中央会 県一JA構想提起！全国最大規模の単協へ」と出ていたのです。五年後の二〇二二年度をめどに福岡県内二十JAと中央会・連合会を統合し、県内一JAを目指すというものでした。

JAグループ福岡は、農業・農協改革を踏まえ、経営基盤の安定に向けて決めたと言っています。組合員数三十三万九、〇〇〇人（正組合員約十二万一、〇〇〇人）、貯金二兆七、〇〇

〇億円と大分県最大の金融機関、大分銀行規模となります。

福岡の県一JA構想で驚いていた四日後の四月七日、今度は農林中央金庫（農中）が全国の六〇〇を超えるJAに対して「二年後の二〇一九年五月までに金融事業の分離・再編の方向性を決めるように求めた」と日経新聞に出ました。その上、「農中の異例の要請で農協改革が加速する可能性が出てきた」と結んでいます。いよいよ政府の農協改革で、合併か信用事業譲渡かを系統組織で詰められる事になります。

### 農協として「組合員」と共に

組織を守ることは重要ですが、主人公の組合員を無視した改革は本末転倒です。

農山村地域に行けば行くほど過疎高齢化が進み、ライフラインの維持が厳しくなる中で、その大切な役割を果たすのが「農協」です。そして、そこには主人公の組合員や地域の方々が居ます。

これまで支えてくれた組合員、そしてこれからも利用して頂く組合員、地域の皆様に喜ばれる取り組みを続けて行くことが農協としての役割だと考え、今後、も下郷農協は頑張って参ります。

## 家族と食生活の大切さを学ぶ 女性部員以外の方も参加して

下郷農協女性部は、三月四日、JAグループ大分等の主催で開催された「よい食を考えるフォーラム」に参加しました。今回は部員以外の方も誘いし、三名の参加が得られ、総勢二十名の出席となりました。

別府パストラルで美味しい昼食をいただき、その後大分の「フォーラム」に向かいました。

基調講演は(株)日本農業新聞農政経済部次長 高橋秀昭さんによる「地産地消が食を守る」というお話でした。①アメリカのトランプ政権により、解放圧力が増し、食の安全が脅かされる可能性が強まる危険な状況があること、②日本は急速な人口減少（特に二十代～四十代の子どもを産む世代の減少）、食料自給率の伸び悩み（主食の米を食べる量が減少していることが原因）、③一方で田園回帰の潮流が生まれていること（二十歳代の4割が農村定住希望）、そして地産地消が地域経済と食を守り、ひいては子どもや孫を守ることにつながること等が話されました。

次に記念講演として、料理研究家の枝元なほみさんの「毎日の健康は食卓から」というお話

がありました。毎日の生活や食事の中で何が大切か、どこに価値をおくのかで未来も決まってくることで、三度の食事を大切にする、その中で社会の仕組みを考えたり、働きかけたりすることが社会を変えるチャンスになること等が、やさしい言葉で語られました。

今回は時間的にゆとりが無かったのですが、このフォーラムの主旨である「食糧生産をめぐる現状や、家族と食生活の大切さについて考える」良い機会になりました。



## グリーンコープ福岡

### 産地交流会で下郷の産地を訪問

三月十八日（土）、グリーンコープ福岡の組合員約三十名が下郷農協を訪れました。

農協の矢崎組合長・松本参事、野菜組合の鷹崎組合長より歓迎あいさつの後、野菜たっぶりのちゃんこ鍋とお肉のバーベキューを、試食も兼ね味わっていたいただきました。また、生産者を加えグループに分かれ食事をしながら自己紹介と「おいしい調理の方法」「下郷の歴史」について懇談をしました。「普段お肉を食べない子どもが今日はお肉をモリモリ食べていて驚いた」という声がありました。

その後、生産者の梅木さん、鷹崎さんの畑を訪問、畑の脇に生えたつくしや、梅の花を眺め春の陽気を感じながらナバナと大根を収穫しました。下郷の豊かな環境下で育つ野菜の特徴について身を以て体験していただきました。新鮮なナバナを思わず生で食べる方や、なかなかぬけない大根を親子で一生懸命収穫する姿がとてほほえましく和やかなムードでした。

今回の交流会では、若い世代

の親子連れで参加してくださった方が多く、「食」への関心や下郷農協食材のファンという消費者の率直な意見を聞くことができました。また「安心・安全」おいしい下郷農協の食材をじっくりと知ってもらう貴重な機会となりました。（難波）



## ホットプレートで「石焼ビビンバ」作り

### 産直の会が生産者らと交流

三月六日(月)、下郷有機農業産直の会の交流会が開催され、黒豚生産者の石川さん、農協より横山(親) 食肉加工部長、企画部難波が参加しました。

産直の会会員は十六名が参加し、農協の食材を利用した「石焼ビビンバ」を作りました。

石焼ビビンバは専用の石焼鍋での調理法が主流ですが、家庭用ホットプレートを使用することで大人数でも楽しめるメニューでした。

試食の後は、自己紹介・意見交換を行い「黒豚と韓旋豚肉の内容」についての説明や「仕事をしていた配達日に受け取りが出来ないため、近くの店舗に卸してほしい。」という要望、「班の運営状況(配送料)などうまくいっているか」「農協の野菜は欠品になることが多いが、その後スーパには大量に並んでいる様子を見て考えさせられる。気温や天気に影響されるのも無農薬栽培だからこそ。」と様々な意見が出されました。

注文紙の紙面ではわからないお客様の意見や想いを直接



伺うことができとても有意義な交流会でした。

今後も産直交流会に参加させていただきますと思います。

(難波)

## 万の農作業事故に備え

### 事務組合担当者招き「労災保険」説明会

三月十四日、農協本所でJAF大分中央会が設立した「労働保険事務組合」の担当者を招き、労災保険説明会が組合員ら十二名の参加で行われました。

労災保険は、本来、労働者の業務または通勤による負傷、疾病、傷害、死亡に対して国が保険給付する制度ですが、農業者の場合にも特別に任意加入が認められています。

説明会では初めに、農協の労災窓口担当者が「農作業中の死亡事故は全国で年間三五〇件に上り、そのうち六十五歳以上の方が八割以上を占めていて、死亡事故の最多はトラクター事故となっています。下郷管内は畜産従事者も多く、万が一事故が起きても収入が途絶える事無く安心して営農が継続できる環境にするため、労災保険の説明会を開催しました。」とあいさつしました。

続いて労働保険事務組合の担当者から国の労災保険制度について、どんなケガが対象になるのか、ケガで休んだ時の補償等について概要説明の後、農業者のための特別加入制度として、特定の農作業従事での加入や指定した農業機械従事での加入、労働者を使用する中小事業主としての加入方法、給付基礎日額・保険料などについて具体

的に分かり易く話されました。

また、農作業事故に遭われた場合のその後の状況でいくらの労災保険給付が受けられるのか、休業日数や障害等級、遺族の人数等、それぞれのケースで詳しく説明を受けました。

出席者からは、加入に年齢制限はないのか、農作業中の軽トラック事故で自賠責保険と労災保険の関係はどうか、家畜市場や屠畜場での事故による労災対象の可否など、たくさんの質問が出されました。

説明を聞いた組合員のひとり、**「掛金も安く補償が充実しているのでぜひ加入を考えた」と話していました。**

(f)



# 「春の農作業安全確認運動」実施中！

毎年、全国で約350件の農作業死亡事故が発生しています。

事故が多発する3～5月を農作業安全対策の重点期間として、農林水産省や農業関係団体が「春の農作業安全確認運動」を実施中です。

## 重点テーマ

### 1人1人の安全意識と周辺からの「声かけ」から始まる農作業の事故防止

### ◆65歳以上が8割以上・トラクター事故が最多!!◆

農業機械による死亡事故の多くはトラクターが原因となっています。田畑・畦などでの作業や移動には十分注意し、安全確認・安全作業を心掛けましょう。



### 春の農作業安全確認運動ステッカー 組合員の皆様へ

#### 万一の事故に備え、労災保険（国）に加入しましょう

国が労災保険法に基づいて、就業中の負傷者や遺族に対して保険給付を行う制度です。

自ら作業を行う農業経営者等は、特別に加入できます。

**保険料（例）：「指定農業機械作業従事者」で加入時**

給付基礎日額が10,000円の場合、年間保険料（特別加入）は10,950円。《指定農業機械：トラック・耕運機・トラクター・田植機・コンバイン…etc.》

## 冠地鶏の味噌焼き

産直レシピ



- 鶏モモ肉…………… 300g
- 味噌…………… 大さじ2
- 醤油…………… 大さじ1
- 日本酒…………… 大さじ2
- みりん…………… 大さじ2
- てん菜糖…………… 小さじ2
- にんにく…………… 1片（すりおろす）
- 生姜…………… 1片（すりおろす）
- サラダ油…………… 少々



### 【作り方】

1. 味噌だれを作る。●の材料をすべて合わせて混ぜておく。
2. 鶏肉を食べやすい大きさに切り、厚手のビニール袋（ジップブロックなど）に入れる。
3. 2に1の味噌だれを入れて口を閉じ、軽く揉んで調味料を肉になじませ、冷蔵庫に入れて、できれば半日くらい置く。
4. 肉を取り出し、キッチンペーパーで軽く拭き、サラダ油を敷いたフライパンに並べ、片面を中火強でこんがり焼く。
5. 肉を裏返し、水70cc（分量外）を入れ、蓋をして蒸し焼きにする。
6. 水分がなくなれば出来上がり。

## 「安全運転コンクール」8チーム達成!!

中津地区安全運転管理協議会主催の「セーフティチャレンジ92・13th」に下郷農協から十一チーム（一チーム五名）が参加しました。チャレンジ期間は二十八年十一月一日～二十九年一月三十一日の九十二日間。無事故・無違反達成をめざし安全運転に邁進、八チームが見事達成することができました。中津地区管内では三六一チームがエントリー、二九〇チームが達成の自己申告、抽選で五十チームに記念品が贈られました。下郷農



協は三チームが記念品抽選会に当たりました（\*）（\*）  
これからも、安全運転をこころがけ、無事故・無違反で業務に頑張ります。

## 酪農組合が先進地視察

三月二十七日、耶馬溪酪農組合（脇坂伸彦組合長・組合員七名）は、酪農組合員や関係者十名の参加で先進地視察を行いました。

最初に、福岡県八女市にある株式会社 明治の九州工場で生乳飲料の充填ラインを見学、工場内部は品質管理体制（ハセツプ）が行われ、安全な製品を作るシステムが整っていました。

工場の担当者からヨーグルト製品の製造から商品販売に至るまでの説明を受け、下郷農協が新年度事業で進める「飲むヨーグルト」の取り組みの参考となりました。

次に、福岡県小郡市にある池松牧場での農家見学を行いました。

池松牧場は総飼養頭数七十頭、うち搾乳頭数四十頭前後と、経営規模は決して大きくありませんが、特徴として自給飼料を積極的に取り入れ、混合飼料を攪拌機で作り自動給餌機をはじめとした機械導入で労働力削減に取り組んでいて、労働力も池松さん本人以外では地域の人を五

名雇用しており、交代で2名程度が池松さんと働いていました。限られた労働力の中でも一頭当たりの搾乳量は非常に高く、雇用の創出とゆとりある酪農業に取り組みながら安定経営を図っていました。

(T)



## こんにちは！デイケア元気村です

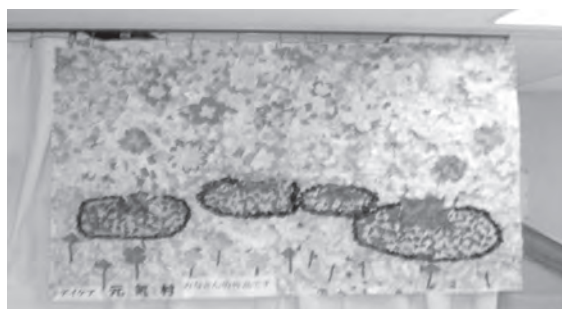
すっかり暖かくなり、きれいなお花があちこちに見られるようになってきましたね。

元氣村のフロアや診療所の待合室には、利用者様のみなさんが作成された桜が飾られました。お目にかかれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

次は何を作成しようか検討中です。ので、出来上がった際にはまたお知らせしたいと思います。デイケアでは四月中旬に、柿坂方面や耶馬溪ダム周辺にお花見ドライブに出かけました。満開の桜並木に皆さんとても感激されていました。

### 【5月の体験利用日のお知らせ】

- ・ 5月24日（水） 10時～16時  
(1日でも数時間でも可。別日でも相談に応じます。)
- ・ 料金・・・昼食代411円のみ
- ・ \* 1週間前までに予約をお願い致します。  
送迎もできますので、予約の際にお知らせ下さい。



ご不明な点がございましたら、お気軽にご連絡ください。

デイケア元氣村

56-2385

# 65歳からの肺炎予防

なぜ65歳からの肺炎  
予防が重要なのですか？



- ①肺炎は日本人の死因の第3位
- ②肺炎による死亡者の約95%は65歳以上
- ③肺炎は発症後に急激に症状が進む事も有る

\*平成29年度に以下の年齢になる方。今までにワクチンを接種してない方。平成30年3月31日までに公費助成金が出ます。自己負担は2,000円です。

65歳・70歳・75歳・  
80歳・85歳・90歳・  
95歳・100歳

下郷診療所で受けられます。  
予約が必要です。

**56-2361** (井上)



下郷

# NEWフェイス



- ①名 前  
但馬 理恵  
(たじまりえ)
- ②所属部署  
管理部
- ③出身地  
北九州八幡東区  
(現在は中津市万田に在住)

- ④マイブーム  
整体 (全身もみほぐしコース)
- ⑤組合員への一言  
頑張りますので宜しくお願い致します。

皆さまのご協力のもと、二〇一六年度の共済推進目標を四年連続で達成することができました。

組合員の安心・安全を守るため、共済部を中心に職員みんなで推進を進めて参りました。

今年度も「ひと・いえ・くるまの総合保障」で、引き続き「安心」「満足」をご提供いたします。



**共済推進目標四年連続達成!!**

【短編】最近の郷土史あれこれ その四 うえんはるの「ういちろうさま」②

津民地区大野にも「ういちろう神」が祀られている。その氏子の一人である中畑榮子氏によると「昔小一郎さんが山に薪狩りに行き、昼寝をしていると火がでて山火事になりかけた。



津民地区・大野の小一郎社

そのとき神様が、小一郎、小一郎と呼んでおこしてくれました。小一郎さんはお社を建ててその神様を祀った。だから「小一郎神」なのだという。ということとは、ここでも「ういちろう神」の性格は火伏神なのである。しかし、この話からすると「昼寝をしていて神様におこされた人が祭神として祀られている」。あるいは、「祀られている神様ではなく、祀った人に因んで、小一郎神」とした「ことにな

るではないか。これはおそらく、語り継がれる過程で少し話が変わってしまったのである。もともとは「山火事になりそうだったので、小一郎神が昼寝をしている人をおこして火事を防いでくれた」というものであり、金吉・上の原の「ういちろうさまが、〇〇の家が火事」と呼んでおこした」という話とほぼ同じ伝説であろう。それでも火伏神としての性格を持つ「ういちろう様は金吉・上の原だけではなかったので、まずはひと安心である。そしてなんと、最近『本耶馬溪町誌』をめぐって見つけた。「小一郎神社 所在地・大字折元字下通 集落の中どころに位置し、町道に面したやさやかな社。左側に『火防ぎの神』『大歳大明神』の石祠が、耶馬溪八十八ヶ所第廿四番札所とならんでいる」としている。



本耶馬溪・折元の小吉郎社

金吉・上の原と津民・大野だけではなく、本耶馬溪にも「火伏神としてのういちろう神」が祀られているのか？ これはもう現地を見るしかない。折元の社を訪ねた。地元の方に聞いてみると「この小吉郎神社は、昔は山の中に祠があつて、三柱の神様が祀られていたが、ここへおろそうという（集落の中ほど）ことになった。しかし、一柱はどうしてもおり



# 第69回 下郷農協通常総会 開催のお知らせ

と き 2017年6月25日(日曜日)  
13時30分～

ところ 下郷小学校 体育館

\* 2016年度事業実績の報告と、  
2017年度事業について組合員  
が方向を決定する重要な総会  
です。  
万障繰り合わせの上、ご出席  
をお願い致します。

## 人事異動

### 【昇格】

四月一日付けで古賀千尋  
(管理部付・信連下郷出張  
所所向)を、職員に昇格し  
ました。

### 【採用】

四月一日付けで、  
高榎奏(中津市耶馬溪町出身)、  
松尾彩花(日田市出身)、  
小若女未来(宇佐市出身)

を新規採用、新人職員研修  
会終了後に辞令先へ配属。

## 理事会だより

三月二十九日、第十二回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

報告事項…①集落常会開催結果概要および意見・要望に対する回答について

②特定事業者作成書面の一部改正について

③二〇一六年度内部監査年間業務活動報告について

第一号議案…二月決算承認の件について

第二号議案…二〇一七年度事業計画(案)について

第三号議案…牛乳加工部ヨーグルト加工事業に伴う新規固定資産の取得等につ

いて

第四号議案…生協向け野菜の返金対応について

第五号議案…第六十九回通常総会開催について

第六号議案…不祥事対応要領の一部改正について

第七号議案…二〇一七年度内部監査実施計画(案)について

・報告事項の集落常会開催結果概要および意見・要望に対する回答については、三月一日・二日各地区で行われた常会の開催状況を報告、組合員からの意見・要望とその回答一覧を提示しました。

・第一号議案の二月決算承認の件については、事業利益△一、一三五千円の計画に対し△六、〇二五千円で四、八九〇千円の未達成となりました。事業利益は計画対比で、収益部門のうち戻入益含の貸付六、二四八千円・共済二、一八六千円・葬儀七、七千円・販売商品五七、一千円が計画を超過達成、食肉六、五七二千円・診療所四、八四〇千円・惣菜一、三八七千円等が未達成となりました。

・第二号議案の二〇一七年度事業計画(案)については、「組合員・消費者、地域に必要とされる農協を目指して」を取り組み目標とした事業方針(案)および、税引前当期利益金一五、一九九千円をめざす事業計画(案)を審議、承認を受けました。

・第三号議案の牛乳加工部ヨーグルト加工事業に伴う新規固定資産の取得等については、事業実施主体が事業条件に該当せず「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業」に切り替えての申請を了承、事業内容が確定したことに伴い改めて事業費、資金調達等について承認を受けました。

・第四号議案の生協向け野菜の返金対応については、正式な請求金額を受け、これまでの協議内容を踏まえ返金対応を行う事が承認されました。

・第五号議案の第六十九回通常総会開催については、開催日時を二〇一七年六月二十五日(日曜日)午後一時三十分から下郷小学校体育館で開催すること並びに提出議案等について承認を受けました。

ふれあいの店  
GWも休まず営業。  
5月27日(土)は  
ポイント2倍  
セール!  
TEL 56-2225(直販)

### 読者プレゼント

# パズル?

## 頭の体操



Q 二重マスの文字をA~Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

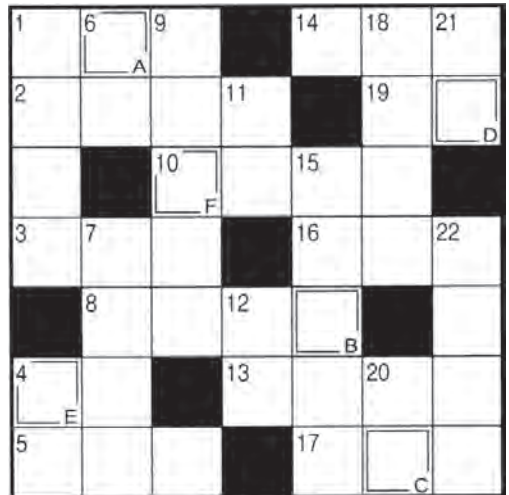
### タテのカギ

- 1 井戸などでくみ上げて使います
- 4 土を小高く盛り上げたもの
- 6 人がたくさん住んでいます
- 7 車に乗って出掛けます
- 9 孫悟空の乗り物です
- 11 中国の——に由来することわざは多い

- 12 まき割りや枝打ちに使う刃物
- 15 東南アジアの国。首都はクアラルンプール
- 18 人を怒らせることを「——に触れる」ともいいます
- 20 インドから伝わる心身調整法
- 21 太陽や星がよく見える天候
- 22 台所ですることの一つ

ヨコのカギ

- 1 端午の節句に食べます
- 2 映画の撮影時にカチンと鳴らします
- 3 人事——で所属部署が変わった
- 4 二つで1組のものを数えるときに使う言葉
- 5 初節句に——飾りとこいのぼりを用意した
- 8 野球の走者のこと
- 10 家を留守にする際は忘れずに
- 13 袖振り合うも——の縁
- 14 チョウの仲間。カラス、アオスジといえ
- 16 ボルトやナットを回す工具
- 17 すし屋の符丁で茶のこと
- 19 布地を裁断した物



### 先月号のこたえ



先月号のこたえ 「ランドセル」  
 当選者 日田市 白石 英己様

### 先月号のこたえ

7	1	4	9	3	8	5	2	6
9	8	6	5	2	7	1	3	4
2	5	3	4	1	6	⑧	9	7
1	2	7	6	8	9	4	5	3
5	3	9	2	7	4	6	1	8
4	6	8	1	5	3	9	7	2
6	9	②	7	4	5	3	8	1
3	4	1	8	9	2	7	6	5
8	7	5	3	6	1	2	4	9

先月号のこたえ ②+⑧=10  
 当選者 北九州市 橋元 和子様

9	6				1			
			2			1		4
		4		3				
	1				9		6	
5								8
	2		4					3
				1		2		
4		6			7			
				8				5 3

解答は次号で

Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ?

## 数独 (すうどく)

①《数独のルール》  
 ①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。  
 ②タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

## 応募方法

クイズの正解者の中から抽選でそれぞれ一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

応募締切は二〇一七年五月二十日(必着)です。

- ① クイズのこたえ A B C D E F (パズル? 頭の体操の場合) クイズのこたえ 数字の合計 (数独の場合)
- ② 住所・氏名・電話番号
- ③ 下郷農協へのご意見ご要望など以上をご記入の上、ハガキの方は〒八七九一〇四三一

大分県中津市耶馬溪町 大字大島 二一五一四  
 下郷農協 企画部 宛  
 Faxの方は 〇九七九一五六―二八八九

\*個人情報他者への開示は一切致しません。当選者のみ紙面で公表させていただきます。

当選者には農協商品をお届けします。

一枚のハガキ・FAXで  
 どちらにも応募できます!!

下郷のHPの  
 応募フォーム  
 から応募  
 できます。

